

2025年11月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月30日

上場会社名 テクノアルファ株式会社 上場取引所

東

コード番号 3089 URL https://www.technoalpha.co.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 稲垣 映磨

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 前田 資之

(TEL) 03-5745-9722

半期報告書提出予定日

2025年7月4日

配当支払開始予定日

:無 決算補足説明資料作成の有無

: 無 決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年12月1日~2025年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

						親会社株主に帰属		
	売上語	<u></u>	営業利	益	経常利	益	する中間総	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期中間期	1, 669	△14.5	91	△3.6	97	△25.1	66	△25.0
2024年11月期中間期	1, 952	△17.2	95	△41.4	130	△30.5	89	△27. 6

(注) 包括利益 2025年11月期中間期 70百万円(△25.8%) 2024年11月期中間期

95百万円(△25.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2025年11月期中間期	37. 82	_
2024年11月期中間期	50. 45	_

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期中間期	3, 047	1, 964	64. 5
2024年11月期	3, 014	1, 955	64. 9

(参考) 自己資本 2025年11月期中間期 1,964百万円

2024年11月期 1,955百万円

2. 配当の状況

- · Ho - * P (1/2)						
		年間配当金				
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計				
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	
2024年11月期	_	0.00	_	35. 00	35. 00	
2025年11月期	_	0.00				
2025年11月期(予想)			_	35. 00	35. 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

2025年11月期の連結業績予想については、現時点で合理的な算定が困難なため、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年11月期中間期	2, 316, 000株	2024年11月期	2, 316, 000株
2025年11月期中間期	550, 350株	2024年11月期	550, 350株
2025年11月期中間期	1, 765, 650株	2024年11月期中間期	1, 765, 650株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

○添付資料の目次

1.	. 経営成績等の概況
	(1) 当中間期の経営成績の概況
	(2) 当中間期の財政状態の概況
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2.	. 中間連結財務諸表及び主な注記
	(1) 中間連結貸借対照表
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 $\cdots 6$
	中間連結損益計算書
	中間連結会計期間
	中間連結包括利益計算書
	中間連結会計期間
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書8
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
	(継続企業の前提に関する注記)9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
	(会計方針の変更)9
	(セグメント情報等)
3.	. その他
	(1) 仕入、受注及び販売の状況

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間においては、ロシア・ウクライナ情勢に加え中東においても緊迫した状況が継続しており、今後の動向は依然として不透明です。また、米国の通商政策の動向を踏まえ、国内外の金利や為替の動向への注視が必要です。

このような状況のもと、当社グループは、重点課題である「半導体テストソリューションの強化」、「FA装置分野の強化」、「舶用機器販売の強化」、「試験・計測システムインテグレーションの強化」および「理化学機器の販売強化」に取り組んでおります。

当中間連結会計期間における売上高は1,669,782千円(前中間連結会計期間比14.5%減)、営業利益は91,636千円(前中間連結会計期間比3.6%減)、経常利益は97,808千円(前中間連結会計期間比25.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は66,777千円(前中間連結会計期間比25.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

① エレクトロニクス事業

当事業においては、有望な商材である半導体テスターを中心とした半導体テストソリューションの強化および 自社開発装置と輸入商材の相互補完によるFA装置分野の強化に注力しております。

当中間連結会計期間においては、おおむね順調に案件の検収が進んでおり、売上高は1,042,148千円(前中間連結会計期間比13.4%減)、営業利益は101,552千円(前中間連結会計期間比9.1%増)となりました。

② マリン・環境機器事業

当事業においては、有望な舶用機器メーカーの舶用クレーンをはじめとする特殊甲板機器の販売に注力しております。

これらの舶用機器は受注から検収までの期間が長く、当中間連結会計期間においては前連結会計年度以前に受注した舶用機器の納入および検収を進めております。

大型の案件の検収時期が第3四半期にずれたことにより、当中間連結会計期間の売上高は158,635千円(前中間連結会計期間比56.5%減)、営業利益は14,075千円(前中間連結会計期間比88.5%減)となりました。

③ S I 事業

当事業においては、エレクトロニクス事業の装置開発・設計部門との連携強化を進め、主要ビジネスである試験・計測システムインテグレーションの強化に注力しております。

これらの取組みと併せて経費の削減を進め、当中間連結会計期間の売上高は429,706千円(前中間連結会計期間 比27.4%増)、営業利益は61,629千円(前中間連結会計期間は、17,408千円の営業損失)となりました。

④ サイエンス事業

当事業においては、海外メーカー製ガスクロマトグラフィー関連装置をはじめとする理化学機器の販売強化に 注力しております。

当中間連結会計期間においては、有望な引き合いはあるものの、売上・利益ともに低調に推移しており、売上 高は39,293千円(前中間連結会計期間比15.3%減)、営業損失は8,492千円(前中間連結会計期間は、3,996千円の営 業損失)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は3,047,166千円(前連結会計年度末比32,695千円の増加)となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少547,704千円および電子記録債権の減少244,749千円の一方で、現金及び預金の増加244,184千円および商品の増加584,179千円による流動資産の増加38,637千円によるものです。

当中間連結会計期間末における純資産は1,964,666千円(前連結会計年度末比8,971千円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払いの一方で親会社株主に帰属する中間純利益を計上したことによる利益剰余金の増加4,979千円およびその他の包括利益累計額の増加3,992千円によるものです。

当中間連結会計期間末における自己資本比率は、64.5%(前連結会計年度末比0.4ポイント減)となりました。

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、693,516千円(前中間連結会計期間末比101,328千円の増加)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、370,578千円の収入(前中間連結会計期間は、25,370千円の収入)となりました。これは、主な支出要因として、棚卸資産の増加610,977千円および未払消費税等の減少45,853千円があった一方で、主な収入要因として、売上債権の減少833,740千円および仕入債務の増加119,666千円があったことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、4,858千円の支出(前中間連結会計期間は、28,159千円の支出)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入13,812千円の一方で、有形固定資産の取得による支出5,774千円および無形固定資産の取得による支出12,650千円によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、122,099千円の支出(前中間連結会計期間は、61,123千円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の減少60,000千円および配当金の支払による支出61,727千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上・利益に占める割合が大きいエレクトロニクス事業およびマリン・環境機器事業の個別案件が大型化する傾向があり、これらの案件の納入時期により業績が大きく変動するため、2025年11月期の連結業績については合理的な予想が困難であり、開示しておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	449, 332	693, 516
受取手形、売掛金及び契約資産	963, 727	416, 022
電子記録債権	463, 500	218, 750
商品	230, 056	814, 236
仕掛品	141, 057	167, 881
その他	302, 428	278, 045
貸倒引当金	△402	△116
流動資産合計	2, 549, 700	2, 588, 337
固定資産		
有形固定資産	211, 212	204, 963
無形固定資産	43, 492	55, 451
投資その他の資産		
投資有価証券	100, 000	100, 000
繰延税金資産	44, 714	35, 629
その他	65, 352	62, 785
投資その他の資産合計	210, 067	198, 415
固定資産合計	464, 771	458, 829
資産合計	3, 014, 471	3, 047, 166

/)) / / L		-	\Box
(単位	•	-	円)
(11/.		- 1	1 1/

		(半位・1円)
	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当中間連結会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	174, 805	294, 472
短期借入金	510,000	450, 000
未払法人税等	57, 979	23, 960
賞与引当金	_	9, 176
その他	190, 599	162, 660
流動負債合計	933, 384	940, 269
固定負債		
リース債務	2, 171	1, 799
退職給付に係る負債	67, 651	77, 732
役員退職慰労引当金	49, 015	53, 829
繰延税金負債	2, 540	4, 851
資産除去債務	3, 397	3, 401
その他	616	616
固定負債合計	125, 391	142, 230
負債合計	1, 058, 776	1, 082, 500
純資産の部		
株主資本		
資本金	100, 210	100, 210
資本剰余金	121, 646	121, 646
利益剰余金	2, 393, 286	2, 398, 266
自己株式	△657, 488	△657, 488
株主資本合計	1, 957, 653	1, 962, 633
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△1,958	2,033
その他の包括利益累計額合計	△1,958	2, 033
純資産合計	1, 955, 694	1, 964, 666
負債純資産合計	3, 014, 471	3, 047, 166

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
売上高	1, 952, 702	1, 669, 782
売上原価	1, 393, 101	1, 161, 069
売上総利益	559, 600	508, 713
販売費及び一般管理費	464, 526	417, 076
営業利益	95, 073	91, 636
営業外収益		
受取利息	1, 222	1, 458
為替差益	4, 177	-
保険返戻金	30, 475	9, 652
その他	491	1, 388
営業外収益合計	36, 368	12, 499
営業外費用		
支払利息	923	1, 175
為替差損		5, 151
営業外費用合計	923	6, 327
経常利益	130, 518	97, 808
特別利益		
固定資産売却益	238	367
特別利益合計	238	367
税金等調整前中間純利益	130, 756	98, 176
法人税、住民税及び事業税	20, 819	21, 765
法人税等調整額	20, 858	9, 633
法人税等合計	41,677	31, 399
中間純利益	89, 079	66, 777
親会社株主に帰属する中間純利益	89, 079	66, 777

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)
中間純利益	89, 079	66, 777
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	6, 324	3, 992
その他の包括利益合計	6, 324	3, 992
中間包括利益	95, 403	70, 769
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	95, 403	70, 769
非支配株主に係る中間包括利益	_	_

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2023年12月1日	(単位:千円 当中間連結会計期間 (自 2024年12月1日
	至 2024年5月31日)	至 2025年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	130, 756	98, 17
減価償却費	15, 434	12, 72
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	△28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10, 797	9, 17
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△48, 556	4, 81
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8, 785	10, 08
受取利息及び受取配当金	$\triangle 1,222$	$\triangle 1,45$
支払利息	923	1, 17
為替差損益(△は益)	1, 475	△56
保険返戻金	△30, 475	$\triangle 9,65$
固定資産売却損益 (△は益)	△238	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	211, 734	833, 74
棚卸資産の増減額(△は増加)	161, 040	△610, 97
前渡金の増減額(△は増加)	△155, 750	90, 05
仕入債務の増減額 (△は減少)	△153, 998	119, 66
未払金の増減額 (△は減少)	△17, 648	△8, 56
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△25, 185	△45, 85
その他	△57, 273	△80, 79
小計	50, 540	421, 09
利息及び配当金の受取額	1, 209	1, 43
利息の支払額	△961	$\triangle 1, 24$
法人税等の支払額	△25, 417	△50, 70
営業活動によるキャッシュ・フロー	25, 370	370, 57
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54, 667	$\triangle 5, 77$
有形固定資産の売却による収入	470	36
無形固定資産の取得による支出	△14, 472	△12, 65
保険積立金の積立による支出	$\triangle 1,746$	△1, 39
保険積立金の解約による収入	42, 233	13, 81
貸付けによる支出	△350	
貸付金の回収による収入	374	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△</u> 28, 159	△4, 85
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△60, 00
配当金の支払額	△60, 689	\triangle 61, 72
リース債務の返済による支出	△434	$\triangle 37$
財務活動によるキャッシュ・フロー		△122, 09
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1, 475	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65, 388	244, 18
現金及び現金同等物の期首残高	657, 576	449, 33
現金及び現金同等物の中間期末残高	592, 188	693, 51

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更) 該当事項はありません。 (セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			<u> </u>	
	エレクトロニク ス事業	マリン・環境機 器事業	SI事業	サイエンス事業	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1, 204, 051	364, 973	337, 277	46, 400	1, 952, 702
外部顧客への売上高	1, 204, 051	364, 973	337, 277	46, 400	1, 952, 702
セグメント間の内部売上高又 は振替高	480	_	3, 728	_	4, 208
計	1, 204, 531	364, 973	341, 006	46, 400	1, 956, 911
セグメント利益又は損失(△)	93, 043	122, 842	△17, 408	△3, 996	194, 480

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差 異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	194, 480
全社費用(注)	△99, 406
中間連結損益計算書の営業利益	95, 073

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年12月1日 至 2025年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			(十)立・111/	
	エレクトロニク ス事業	マリン・環境機 器事業	SI事業	サイエンス事業	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1, 042, 148	158, 635	429, 706	39, 293	1, 669, 782
外部顧客への売上高	1, 042, 148	158, 635	429, 706	39, 293	1, 669, 782
セグメント間の内部売上高又 は振替高	783	_	13, 847	_	14, 631
# <u></u>	1, 042, 932	158, 635	443, 553	39, 293	1, 684, 414
セグメント利益又は損失(△)	101, 552	14, 075	61, 629	△8, 492	168, 764

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	168, 764
セグメント間取引消去	△563
全社費用(注)	△76, 564
中間連結損益計算書の営業利益	91, 636

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

3. その他

(1) 仕入、受注及び販売の状況

① 仕入実績

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの仕入実績は、次のとおりです。

セグメントの名称	仕入高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	821, 764	+31.7
マリン・環境機器事業	96, 012	△53. 0
SI事業	118, 738	+86.9
サイエンス事業	24, 343	△25. 3
合計	1, 060, 859	+14.7

⁽注) セグメント間取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの受注状況は、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
エレクトロニクス事業	2, 280, 789	+105.4	1, 998, 587	+94.9
マリン・環境機器事業	173, 012	+286.1	1, 220, 895	△4.0
SI事業	356, 524	+69.6	197, 445	+78.4
サイエンス事業	96, 168	+65.8	67, 166	+73.3
合計	2, 906, 494	+104.2	3, 484, 095	+42.4

⁽注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

③ 販売実績

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの販売実績は、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)	
エレクトロニクス事業	1, 042, 148	△13. 4	
マリン・環境機器事業	158, 635	△56. 5	
SI事業	429, 706	+27.4	
サイエンス事業	39, 293	△15.3	
合計	1, 669, 782	△14.5	

⁽注) セグメント間取引については、相殺消去しております。